

基本的方向1から6に関わる政策

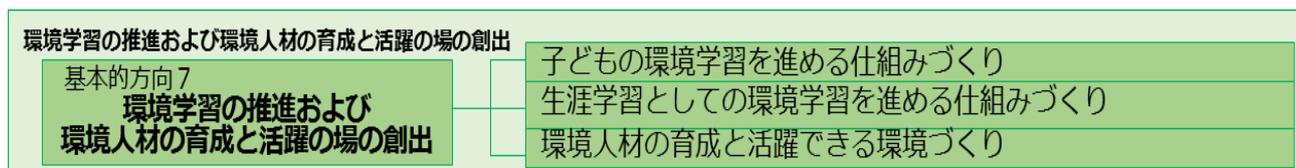
環境学習の推進および環境人材の育成と活躍の場の創出

これまで環境プランでは、特に飯田市の自然や生物を環境学習の主な対象としてきました。21' いいだ環境プラン第4次改訂版では、環境学習を本プランで推進する3つの政策(気候変動の緩和と適応、循環型社会の形成、自然環境・生活環境・生物多様性の保全)への理解とその具体的な取組みの実践に繋げるため、全体の核となる重要な政策として位置づけます。

学習の対象は、3Rや省エネルギーといった身の回りの事柄から地球温暖化の現状や気候変動がもたらす飯田市への影響など、様々な事柄に拡大するとともに、市民が学びやすい環境を整え、関係団体等と連携して積極的に取組みます。

環境学習を進め「気づきから行動へ」展開するよう、知見をもつ人材を増やしていくこと、そして、学校や地域など様々な場面で活躍の場を拡大していくことが重要です。

体系図



基本的方向7 環境学習の推進および環境人材の育成と活躍の場の創出

環境学習が行われる機会は大きく分けて2つあります。ひとつは学校であり、総合的な学習の時間で地域教材を活用した環境学習が行われていますし、理科や社会科といった教科の中でも多くの学年で環境に関する学習が行われています。

もうひとつは、公民館活動を中心とした生涯学習です。公民館は飯田市の生涯学習において重要な役割を担っていますが、その講座支援事業のひとつに環境学習があります。しかし、近年の開催状況を見る限りでは、他の分野と比較して活発とは言い難い状況です。

今後は、環境分野に携わる行政、関係団体、市民が協働し、環境教育の担い手のリストや具体的なプログラム等を整理し、学校や公民館が企画、運営しやすいように提示していくことで、環境学習への幅広い世代の市民参加を促していくことが重要です。

●基本的方向7の具体的な取り組み

7-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり

- 環境チェッカーの活動や自然観察学習会を通じた環境学習の推進
- 森林や山での野外体験を通じた環境学習の推進
- 環境学習や体験活動の場の維持管理
- 小中学生への環境教育の実施

7-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり

- 域産域消の「食」の啓発・推進（フードマイレージ）
- 河川にまつわる自然・環境・歴史などの生涯学習の推進
- 身近な場所（公民館）で行われる環境学習や調査
- 美術博物館における伊那谷の自然や環境への学び
- 「りんご並木のエコハウス」等を活用した環境講座

7-3 環境人材の育成と活躍できる環境づくり

- 環境保全型農家の育成
- 環境アドバイザーや環境チェッカーの活動支援
- 伊那谷の自然と文化の調査とデータ整備・公開
- 3Rの推進、ごみの適正処理のための学習会への講師派遣
- 気候変動に関する環境学習の推進

●基本的方向7の具体的な取り組みの実施状況

基本的方向7-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり

(1) 計画期間中の取り組み目標

- ア 環境人材バンクや学習の場に関する情報網の整備がされており、年代に応じた分かりやすいプログラムが提供できています。
- イ 幼稚園、保育園、小中学校での環境学習に、行政や関係機関から取り組みやすいプログラムが提示されて、様々な場面で実施できる体制が整えられています。
- ウ 子どもたちが日常生活でごみの分別の意識を高めています。

(2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29年度の進捗状況
① 子どもに対する自然体験の場づくりや環境学習プログラムの整備と開発を行います。	◎ 実施中
② 環境学習プログラムを活用した環境学習が行われる機会を創出します。	◎ 実施中
③ 環境アドバイザーの派遣により、小中学校での環境学習を支援します。	◎ 実施中
④ 小学生を対象としたごみの分別を学ぶ機会や、環境保全への関心を高める機会を提供します。	◎ 実施中

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中

△：外部要因により実施停滞 ×：未着手

(3) 平成29年度の取り組み状況及び課題

【取り組み状況】

- ① 自然観察会を開催し、自然とのふれあいの場の創出しました。
- ② 環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習の機会を設けることで、環境保全意識の高揚に努めました。
- ③ 小学校4年生や地域団体などを対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全意識の高揚に努めました。
- ④ 市内小学校4年生を対象に自然環境保全ポスターの作製を通じて環境保全への意識高揚を図りました。また、入選作品を市内公民館や大型商店へ展示、ポスター看板を作製して各地区へ掲示することにより、市民の環境保全意識の高揚に努めました。
- ⑤ 天竜川総合学習館では、天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示を行い、一般観覧者に対応するとともに、週1～2回の講座開催による環境等の学習を推進しました。また、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然、環境、歴史、文化などを題材にした生涯学習の推進を図りました。

【課題】

毎年一定数の固定的な対象への環境教育（小学4年生にむけた自然環境保全ポスターや環境施設の見学など）は出来ていますが、裾野の広がりが見受けられません。環境について興味関心が高い人々だけではなく、啓発としての環境学習をより進展させていくべきと考えます。

(4) 対応する事務事業（資料編参照）

- ア No.198 森づくり市民活動支援事業
- イ No.192 森林病虫害対策事業
- ウ No.193 森林鳥獣被害対策事業
- エ No.146 環境汚染対策事業
- オ No.239 社会基盤維持管理事業
- カ No.252 公園維持管理事業
- キ No.273 大平宿泊訓練施設管理事業
- ク No.253 飯田子どもの森管理運営事業
- ケ No.159 3R推進事業

基本的方向7-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり

(1) 計画期間中の取り組み目標

- ア 市民ニーズに合わせた多種多様な環境学習プログラムが構築され、生涯学習のひとつとして多くの市民が環境学習に参加しています。
- イ それぞれの公民館が環境学習を企画しやすいように、プログラム案の作成支援やサポート、情報提供が実施されています。
- ウ 参加者自らが調査や研究に関わる体験活動型の環境学習が行われています。

(2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29年度の進捗状況
① 取り組みやすい環境学習プログラムを構築します。	◎ 実施中
② 環境学習プログラムを活用した環境学習が行われる機会を創出し支援します。	◎ 実施中
③ 公民館等の学習メニューに体験活動型の環境学習が行えるよう支援します。	◎ 実施中

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中

△：外部要因により実施停滞 ×：未着手

(3) 平成29年度の取り組み状況及び課題

【取り組み状況】

- ① 元気な農村づくり推進事業における食ごよみ実践講座は、24名の受講があり、年間10回の講座をとおして飯田下伊那地域の行事食、郷土食を実践しました。
- ② 地区公民館事業として、各地区住民全世代を対象で、各地区の特色をいかした多様で主体的な学習交流活動を支援しました。
- ③ 地区公民館事業として、里山保全活動、水辺の楽校、農作業体験教室等を実施しました。
- ④ 美術博物館教育普及・活動支援事業として、自然講座、子ども科学工作教室、子ども地球探検隊、天文講座、化石標本室ワークショップ、自然史発表会、ジオパーク看板設置を行いました。

【課題】

- ① 講座受講生について、講座終了後の支援について検討する必要があります。
- ② 公民館事業による学習交流活動は、地域課題解決に向けた取組や青年層世代が参加しやすい事業展開が必要です。

(4) 対応する事務事業（資料編参照）

- ア No.176 元気な農村づくり推進事業
- イ No.177 堆肥センター運営事業
- ウ No.246 天竜川総合学習館管理運営事業
- エ No.312 地域の多様な学習交流支援事業
- オ No.315 地域の環境学習交流支援事業
- カ No.328 美術博物館教育普及・活動支援事業
- キ No.329 プラネタリウム運営事業
- ク No.156 エコライフ啓発普及事業
- ケ No.157 旧飯田測候所活用事業

基本的方向7-3 環境人材の育成と活躍できる環境づくり

(1) 計画期間中の取り組み目標

- ア 整備されたプログラムに合わせた人材の発掘と育成が行われ、環境学習を担う人材が創出されています。
- イ 環境学習を担う人材が必要とするデータの整備が進んでいます。
- ウ 環境アドバイザー制度や環境NPO、環境保護団体等のネットワークを基にした環境人材バンクが整備され、環境学習のコーディネート体制の構築が進んでいます。

(2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29年度の進捗状況
① 地域の関係者等と連携した環境学習プログラムを整備します。	◎ 実施中
② 環境学習プログラムに対応できる継続的な人材の発掘と育成に努めます。	○ 実施中
③ 情報提供の仕組みを構築するとともに、地域、学校、催事など各場面での環境アドバイザー制度の更なる利用拡大を図ります。	○ 実施中
④ 環境人材バンク、環境学習プログラムへの需要と供給のコーディネート体制を整備します。	○ 実施中

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中

△：外部要因により実施停滞 ×：未着手

(3) 平成29年度の取り組み状況及び課題

【取り組み状況】

- ① 環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習の機会を設けることで、環境保全意識の高揚に努めました。
- ② 小学校4年生や地域団体などを対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全意識の高揚に努めました。

【課題】

教育委員会等関係する部署との連携により、学習プログラムの増加や幼保小中などでの学習機会を増やす取組が必要です。

(4) 対応する事務事業（資料編参照）

- ア No.148 環境教育推進事業
- イ No.326 美術博物館資料調査研究・収集保管事業
- ウ No.327 美術博物館展示公開事業
- エ No.328 美術博物館教育普及・活動支援事業
- オ No.159 3R推進事業

カ No.156 エコライフ啓発普及事業

キ No.157 旧飯田測候所活用事業